

國際法外交雜誌第三十六卷 自第十一號 總目錄

論 說

「ナチス」國際法觀……………	法學博士立 作 太郎……………	一號	一頁
國際聯盟規約による干渉(一・二・三)……………	法學士小 谷 鶴 次……………	二號	一三頁
國際私法上に於ける遺言(一・二・三・四)……………	關西學院教授久 保 岩 太郎……………	三號	二〇頁
國際法に於ける條約改訂の問題(三・四・五)……………	九州帝大教授大 澤 章……………	四號	二四頁
日本同盟協商制度論(十八)……………	法學博士 龜 島 守 之 助……………	五號	二五頁
親子間の法律關係を定むる國際私法規定の適用に關する 若干の問題(一・二)……………	東京帝大教授江 川 英 文……………	六號	二九頁
聯盟規約第十九條論(一・二)……………	法學士山下 康 雄……………	七號	三〇頁

アメリカ合衆國新中立法要義(一・二).....	法學博士立 作 太郎.....	〔九八〕七二八
租借地と懸案(一・二).....	法學士植 田 捷 雄.....	〔九〕八五二
現代帝國主義の特質.....	東京帝大教授神 川 澄 松.....	〔十〕九二五
露清密約と直隸邊境問題(一).....	法學士秋 保 一 郎.....	〔十〕九四八

資 料

一九三四—一九三五年に於ける國際紛争平和的處理の情勢(一・二).....	法學士一 又 正 雄.....	〔二〕一八三
「モントル」條約による新海峽制度.....	法學士佐 藤 舜.....	〔五〕四四八

國 際 判 例

常設仲裁裁判所判例研究.....	東京帝大教授横 田 喜 郎.....	
一二 カルタージエ號事件.....		一.....八四
一三 マヌーバ號事件.....		二.....一九四
一四 タイモル島事件.....		三.....二八六
一五 ボルトガルの教會財産の沒收に關する事件.....		四.....三九〇
一六 ベルギーに對するフランス人債權の事件.....		六.....五八〇

一七 アメリカのノルウェー船徴發事件……………七……六五八

一八 バルマス島事件……………八……七七三

國際審査委員會報告研究

一 北海のイギリス漁船砲撃事件……………九……九一一

二 タウニアノ號、カムーナ號、ゴローア號事件……………十……九九二

紹介

雜誌……………Dr. Th. Baly

Revue de Droit International

1935, No. 2……………一……九八

1936, No. 3……………五……四七六

1936, No. 4……………六……五九四

1937, No. 1……………十……一〇三

Revue Générale de Droit International Public

1936, No. 5……………四……三九八

1936, Nos. 4, 6……………六……五九七

1937 No. 1……………六……五九一

American Journal of International Law

目次

目次

四

October, 1933.....三三〇—三〇一
 January, 1937.....八八二—八二五
 April, 1937.....九二四—九二九

新刊書

Heinrich Drost, Grundlagen d s Völkerrchts, 1935 (松原).....一九一
 Franz Pfleger, Die einseitigen Rechtsgeschäfte im Völkerrcht, 1936 (松原).....一九二
 立作太郎『現實國際法諸問題』(昭和十二年)(横田).....六八八—六八九
 田岡良一『空襲と國際法』(昭和十二年)(横田).....六八九—七〇〇
 E. Hambro, L'Execution des Sentences Internationales, 1936 (小谷).....八一四—八一五
 F. Schläger, De-facto Anerkennung im Völkerrcht, 1936 (小谷).....八一八—八一九

雜報

國際法學會第四回研究會記事.....九三—九四
 國際法學會春季總會記事.....五八八—五八九
 國際法學會秋季總會記事.....九九七—九九八

外交文書

日獨防共協定	一	九九
日露漁業條約延長議定書	二	二〇二
海峽制度ニ關スル「モントルー」條約	五	四七七
永代借地制度解消ニ關スル交換公文	六	五九八
阿片吸食防止協定	七	六九三
滿洲國治外法權撤廢及滿鐵附屬地行政權移讓ニ關スル日滿條約	十	一〇〇四